

令和元年度自治体SDGsモデル事業②

神奈川県小田原市

人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造

恵まれた自然環境、地勢条件、歴史的に育まれてきた技や人、地域の絆などの社会的資源を強みとし、「おだわら市民学校」によるひとづくりやつながりの強化を中核に、ポイント循環による「つながりの見える化」、Society5.0の実証研究を通じて、「いのちを守り育てる地域自給圏」を創造し、豊かで、安全で、持続可能な暮らしを実現する。

<取組課題>

一次産業の基盤強化と暮らしへの定着
観光(交流)による地域活性化



経済

ものづくり

- 伝統的な地場産業の支援と育成
- 高技術・高品質のものづくりのPR促進

農林水産業

- 有機農業モデルタウンの取組
- 「木づかい」のまちづくり
- 農産物・水産物の地産地消とブランド化



農産物のブランド化



再生可能エネルギーの取組

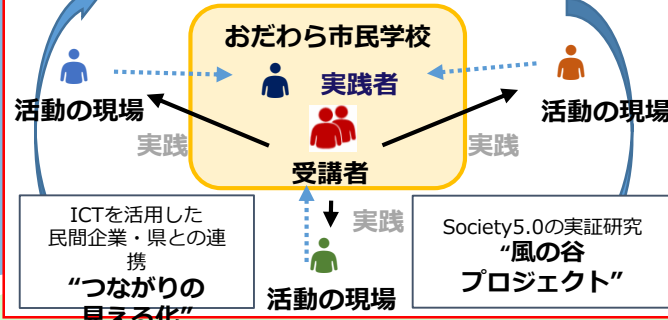
<取組課題>

豊かな自然を次の世代へ引き継ぐ
エネルギーの地域自給

三側面をつなぐ統合的取組

“現場での学びと実践の循環”による人材・担い手育成
と地域課題の解決 → 公・共・私ベストミックス

プラットフォームを介した循環



<取組課題>

地域コミュニティ組織の強化
地域資源を生かした協働の推進



社会

地域福祉

- ケアタウンの推進

地域コミュニティ

- スクールコミュニティの形成
- 地域コミュニティの強化

シニア活躍

- プロダクティブ・エイジングの推進



子どもの居場所 (プレイパーク)

環境



環境共生

- 森里川海オールインワンの環境先進都市としてのブランド確立
- 地域の環境再生・保全活動の推進

環境再生・保全活動

- 森林の再生
- 里地里山の再生と整備
- 水辺環境の整備促進

エネルギー

- エネルギーの地域自給に向けた取組



いのちを守り育てる
地域自給圏